

● 横浜市「水源エコプロジェクト」に参加 ●
～横浜市の水源林を守る活動を応援～

横浜市では、横浜のおいしい水を次の世代に引き継いでいくために、企業と水道局が協働で、山梨県「やまなしの森づくり・CO2吸収認証制度」を活用し、道志村の水源の森づくりに取り組む仕組「水源エコプロジェクト（W-eco・p ウィコップ）」を2009年度に立ち上げました。京急百貨店では、このプロジェクトに第1号として参加し、横浜市が所有する道志村の水源涵養林の整備を行ってまいりました。

2019年12月に、協定に基づいた森林整備（間伐等）が実施されました。その結果としての1年間のCO2吸収量は5.0t-CO2と認証されました。

企業・団体と横浜市との水源保全活動

W-eco・p
ウィコップ

水源地エコプロジェクト W-eco-pとは

横浜市水道局と協定を結んだ企業・団体様の寄附により、横浜市が所有する道志水源林を協働で保全するための取組です。

道志村の水源林が横浜へ美味しい水を届けています

横浜市は、大正5年（1916）から道志村の水源林を保育し（現在287.3ha、村の総面積の3.6%）、水源かん養機能の維持・向上を図るため、道志水源林の保護・育樹を続けています。

横浜市水道局

「横浜市のふるさと認定の認定書」への参加は、道志村の有志が市民ボランティアと協働で実施している「道志水源林ボランティア会」の活動資金として活用されています。



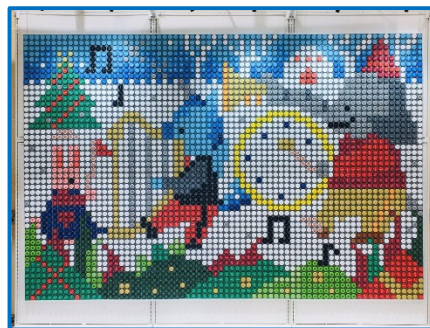
● 楽ecoギフト ●

「楽ecoギフト」とは、カーボンオフセット型のお中元・お歳暮ギフトで、お客様からご注文いただいた商品の販売からお届けまでに排出されるギフト1個あたりのCO2排出量に、森林支援で得られたCO2吸収量をあてています。



● X'masエコキャップアート ●

2020年11月19日(木)～12月25日(金)の間に、お客様・学校・各団体などから回収したペットボトルキャップは計12万7310個、ポリオワクチン145人分集まりました。



● 「ヨコハマ3R夢」ポスター展 ●

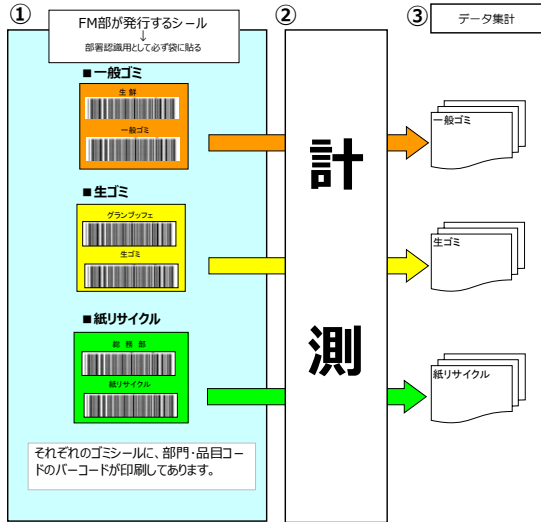
2021年1月16日(土)～22日(金)
～10階レストランフロアにて～



ゴミシール運用ルール

廃棄物減量化推進
2019年04月01日改訂

- ★オレンジ色の「一般ゴミシール」は、一般ゴミと廃プラ袋に貼り、各階の**グレーコンテナ**に投入
- ★緑色の「紙リサイクルシール」は、各階の**グレーコンテナ**に投入
- ★黄色の「生ゴミシール」を貼った袋は、**直接地下2階のゴミ処理場に持ち込み計測する**



売場から排出されるゴミは全て分別します

- エコマーク活動の一環で、排出するゴミの分別・計量を実施しております。
全ての売場で、ゴミシールを貼り、分別排出するルールを徹底しております。

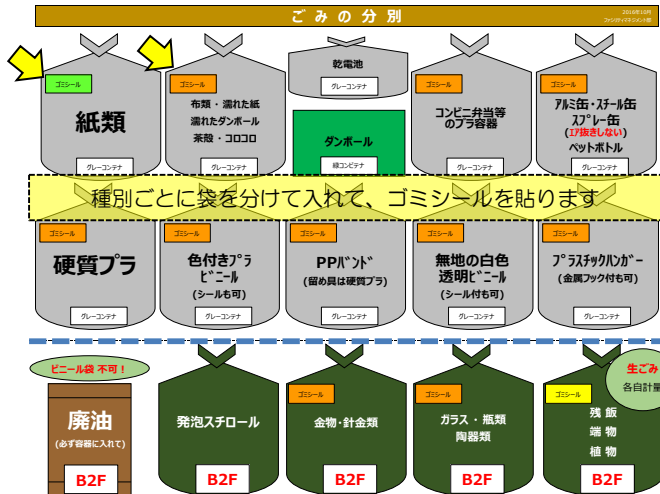
廃棄物減量化推進

手順 - 03
2019年04月01日改定

総合ゴミ 排出ルール

種別	品名・排出方法	シール	排出場所	計量	計量方法	
処分するもの	一般ゴミ(焼却)	① 布類・清掃ゴミ、ホコリ・濡れた紙と、ダンボール・茶殻・ココロ カーペット、 保冷剤 等……まとめて袋に入れる	オレンジ	グレーコンテナ	○	袋にゴミシール(部門・担当名入)貼付 京急サービスがスキャンして計量
		② たばこの吸い殻……火の始末してから捨てる。	×	赤バケツ	×	計量しません
産業廃棄物	① コンビ弁当等のプラ容器・スチロール ……必ず洗浄して、袋に入れる。	オレンジ	グレーコンテナ	×	計量しません	
	② ガラス瓶類……売場ごとに直接持込む。	オレンジ	直接地下2階へ持込	○	京急サービスにて計量	
	③ 金属類(什器・針金等)……売場ごとに直接持込む。					
	④ 百貨店統一ハンガー……B2F商品管理担当へ	×	商品管理担当へ	×	計量しません	
乾電池	まとめて袋に入れる。	×	グレーコンテナ	×	計量しません	

種別	品名・排出方法	シール	排出場所	計量	計量方法	
リサイクルするもの	紙ゴミ	① 紙は 全て リサイクルする……まとめて袋に入れる ※ 食品が付着等の 汚れや粘着物、臭い がついた紙はリサイクル不可能 → 一般ゴミ(焼却)扱いとなる ② 百貨店印刷物(チラシ等)の残りは、印刷元にて処分の事	紙 グリーン	グレーコンテナ	○	ゴミ袋貼付シール(部門・担当名入) をスキャンして計量します
	生ゴミ	残飯・賞味期限切れ食品・端物・植物等……売場ごとに直接B2Fへ持込む。 ※ はし、紙ナプキン、容器等の 混入は不可 (個人の食事の残飯や、茶殻等極少量物は、一般ゴミとする)	イエロー	直接地下2階へ持込	○	各自で計量 ※袋にゴミシール(部門・担当名入)貼付
リサイクルするもの	ダンボール	売場ごとに直接持込む。 ※ 濡れたダンボールや、ダンボールの細切れ は、リサイクル不可能 → 一般ゴミ(焼却)扱いとなる	×	緑コンテナ	○	京急サービスにて計量
	軟質プラスチック	① 無地の白色・透明ビニール(シール付可)……売り場ごと袋にまとめて入れる ② プラスチックハンガー(金属フック付可)……売り場ごと袋にまとめて入れる ※4つに分類	オレンジ	グレーコンテナ	○	袋にゴミシール(部門・担当名入)貼付 京急サービスがスキャンして計量
	フタ・ビニール類 ※4つに分類	③ PPバンド(プラ留め具は 硬質プラスチック)……売り場ごと袋にまとめて入れる ④ 色付プラ・ビニール(シール付可)……袋にまとめて入れる				
	硬質プラスチック	硬質プラスチックだけの袋に入れる。				
	アルミ缶、スチール缶	スプレー缶は必ず エア抜き をし、売場ごと袋にまとめて入れる	オレンジ	グレーコンテナ	○	袋にゴミシール(部門・担当名入)貼付 京急サービスがスキャンして計量
	ペットボトル	キャップを取り、潰して フィルムは取らずに、売り場ごと袋にまとめて入れる				
リサイクルするもの	発泡スチロール	売場ごと直接B2Fへ持込む				
	二升瓶	洗浄し、売場ごと直接B2Fへ持込む				
	一斗缶	中味を空にして 工具でスクラップ してから、売場ごと直接B2Fに持込む	×	直接地下2階へ持込	○	京急サービスにて計量
	廃油	一斗缶等、 容器に入れて 直接B2Fに持込む(ビニール袋厳禁！) ※ グリストラップの汚泥は廃油ではありません				
	生ゴミ	各自計量				



売場から排出されるゴミは全て計量します

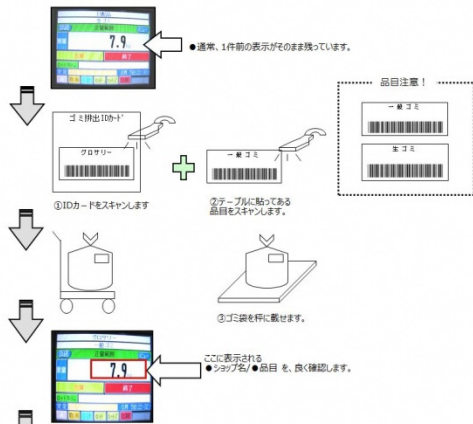
- エコマーク活動の一環で、排出するゴミの分別・計量を実施しております。
バーコードを印刷したゴミシールを全館に配布し、計量時に部門（店名）種別と重量をデータ化します。

ゴミ計量ルール-1(直接持込)

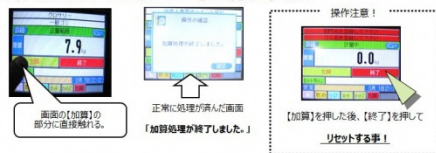
廃棄物減量化推進
2017年04月01日改訂

地下2階ゴミ処理場に持ち込み・計量を行う際の手順です。

- まず、品目ごとに分別がなされているか確認して下さい。
- 次に、所定のゴミシールが貼られているか確認して下さい。
貼付けシールは「リサイクルシール」=紙ゴミリサイクル用（緑色）と、「売場名のみ」=紙ゴミ以外の全て（生、缶、フタ、ビン等；オレンジ色）の2種類があります。
*全ての袋にゴミシールを貼る必要があります。



- ショップ名・品目が間違いないか確認してから【加算】【終了】を押す。

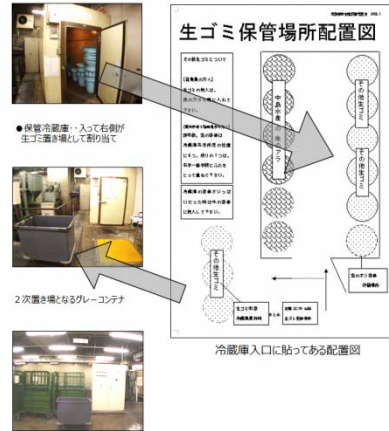


ゴミ計量ルール-2(生ゴミ保管場所)

廃棄物減量化推進
2017年04月01日改訂

生ゴミを計量した後の、保管場所についての手順です。

- 基本的には、冷蔵庫に保管します。
- 冷蔵庫内の桶が一杯で保管できない場合はグレーコンテナに入れます。



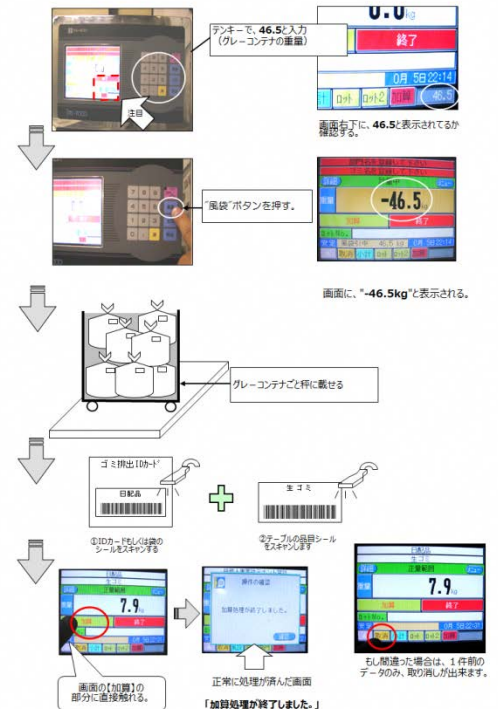
- 夜間の保管も同じ要領で、シール貼り・計量のルールを守って下さい。

ゴミ計量ルール-3(生グレーコンテナごと計量)

廃棄物減量化推進
2017年04月01日改訂

グレーコンテナに載せたまま、秤にかける場合の手順です。

- 必ず一品目でまとまっていて、袋ごとにシールが貼ってあること。
- グレーコンテナの重量は**46.5kg**です。
- IDカードを忘れずに、必ず持参してください。



- 建物の地下2階にある「ゴミ処理場」に集積して、リサイクル業者に引き渡します。
一般ゴミ リサイクル率 61.1% 産業廃棄物 リサイクル率 41.5%

2020(R02)年度 廃棄物一覧

ペットボトルリサイクル
2,944kg

